

## 園だより 11月

あなたはすべてを知恵によって成し遂げられた。

地はお造りになったものに満ちている。

詩編 104 章 24 節

秋晴れの爽やかな一日、久しぶりにたくさんの方々に応援していただきながら運動会が行えましたこと、心から感謝申し上げます。前日の準備から最後の片付けまで、多くの保護者の皆様にご協力をいただきました。お陰様でスムーズに進めていくことができました。ありがとうございました。

運動会の次の週、園庭では変わらず跳び箱に挑戦する子どもたちの姿がありました。そこには年長児に混ざり年少・中児の姿も。気持ちはもう来年の運動会？なのでしょう。年中組のお部屋からはトントコ太鼓の音が聞こえていました。年少組のぐりとぐらたちは可愛い帽子を被ってごっこ遊びを楽しんでいました。運動会を経験しての子どもたちの遊びの継続でした。今年も運動会前の日々から当日、そしてその後の日々、途切れることなく子どもたち自らの遊びが展開されています。

「子どもたちのやってみたい！」主体的な自発性による遊びの展開を思い、私たち保育者はどのように環境を整え、どのような関わりをし、共に過ごすことが大切であるかを常に考えながら子どもたちと共に園生活を送っています。そのための学びも継続的に深めながら。

そのような考えから、幼稚園生活で多くの育みが成されてきた年長組の子どもたちには、より主体性を発揮して過ごす日々の実践を願いました。年長組保育者たちは子どもたちが自分の思いを伝え合い、お互いの声を聞き合うその心地よさを感じることを出来る環境を備えました。そこから溢れる子どもたち自らの想いの言葉。それらを実現しようと生み出される日常の遊びの展開や様々な行事の展開に子どもたちの豊かな成長を確信しています。運動会も子どもたちが考え発せられたアイデアを大切に、皆で試行錯誤し、考えに考えを重ね競技を決定し、様々な取り組みが成され表現されました。

各々に育まれた心と体は11月のクリスマスを迎えるアドヴェントの日々も、穏やかなときとして受け止め、想いを共有し、大切に過ごす日々になります。保護者の皆様も一緒に、豊かな喜びのときをお過ごしただけでしたらと願います。よろしく願いいたします。

園長 駿河 幸子

